# 熱中症にご注意ください!

真夏日や熱帯夜が続くと熱中症が起きやすくなります。

熱中症には気温だけでなく、湿度、風速、直射日光も関係していますので、 炎天下はもちろんのこと、最近では、室内や夜間、安静時にも発症するなどの 事例もあり、注意が必要です。

# ■熱中症とは

高温環境下で、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、 体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。

# ■熱中症を注意しないといけない人

脱水症状の人、高齢者、肥満の人、暑さに慣れていない人、心臓疾患、糖尿病などの病気のある人、認知症のある人などです。

熱中症で救急搬送された方の半数近くは高齢者であり、特に注意が必要です。

## ■予防のためのポイント

屋外では日傘や帽子をかぶるなど、直射日光を避けましょう。 吸湿性や通気性のよい素材のものを着るなど、服装を工夫しましょう。 こまめに水分を補給しましょう。汗をかいたら塩分も補給しましょう。 寝不足や風邪など体調が悪いときは、無理をしないようにしましょう。

#### 症状

以下の症状があったら熱中症を疑いましょう。早期発見と応急処置が大切!

 

 めまい、立ちくらみ 筋肉痛、汗がとまらない
 軽

 頭痛、吐き気 体がだるい(倦怠感) 虚脱感
 中

 意識がない、けいれん 体温が高い、呼びかけに対して返事がおかしい まっすぐに歩けない、走れない
 重

### 応急処置

意識がある、反応が正常な場合

涼しい場所へ避難させましょう。

衣服を脱がせ、身体を冷やしましょう。

水分・塩分を補給させましょう。

冷たいイオン飲料か、ナトリウム 40~80mg (100ml 中) 食塩水(コップー杯あたり一つまみの量)を飲ませる。

ただし、水分を自力で摂取できない、または症状が改善しない場合は、直ちに救急隊を要請しましょう。

意識がない、反応がおかしい場合 救急隊を要請しましょう。 涼しい場所へ避難させましょう。 水や氷で首、わきの下、足のつけ根等、身体を冷やしましょう。

## ■熱中症の関する相談対応電話一覧

熱中症に関する相談は、最寄りの保健所へお問い合わせください。

機関名	課名	電話番号
長崎市保健所	健康づくり課	095-829-1154
佐世保市保健所	健康づくり課	0956-24-1111(直通)0956-25-9646
西彼保健所	地域保健課	095-856-5059
県央保健所	地域保健課	0957-26-3306
県南保健所	地域保健課	0957-62-3289
県北保健所	企画調整課	0950-57-3933
五島保健所	企画保健課	0959-72-3125
上五島保健所	企画保健課	0959-42-1121
壱岐保健所	企画保健課	0920-47-0260
対馬保健所	企画保健課	0920-52-0166

# ■関連サイトアドレス

熱中症情報(環境省)

http://www.env.go.jp/chemi/heat\_stroke/index.html

熱中症予防情報サイト(環境省)

http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/

熱中症情報(総務省消防庁)

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\_2.html

健康のため水を飲もう運動(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/nomou/index.html

職場における労働衛生対策(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei02.html

熱中症に注意(気象庁)

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kurashi/netsu.html

異常天候早期警戒情報(気象庁)

http://www.jma.go.jp/jp/soukei/